

## 第3次水俣市水道事業経営方針及び中長期計画

### 政策評価【概要】

#### ○政策ごとの評価

経営方針として定めた3つの政策目標と、それを達成するために策定した各施策について評価しました。

#### 政策1 「水」の品質向上

評価： **B** (一定の成果を上げた)

#### 施設整備基準の確保

- ◇施設整備5か年計画に基づき、第2水源地の貯水施設やポンプ設備等の整備や第1水源地の滅菌設備の更新等を行いました。また、計画していた施設整備以外にも機械及び電気設備について予防型の維持管理を行うことで長寿命化を図りました。
- ◇配水管5か年計画に基づき、老朽化した配水管の更新を進めました。また、天神2丁目の国道を横断する配水管について、当該計画期間より後年に更新する予定でしたが、財源（国庫補助金）の確保が見込めたことから令和2年度に前倒しで実施しました。

#### 投資額の対計画比率

※平成29年度から令和2年度までの4年間で比較しています

	計 画	実 績	比 率
施設整備	520,634千円	627,456千円	120.5%
配水管整備	180,062千円	438,310千円	243.4%

#### 水質基準の確保

- ◇毎年度水質検査計画を策定し当該計画に基づき水質検査を実施しました。
- ◇主要な水源である第2水源、第4水源に多項目の水質監視装置を設置し水質管理体制の強化を図りました。
- ◇WHO（世界保健機関）が提唱している、安全な水の供給を継続していくための「水安全計画」（Water Safety Plan）を未策定であるため、早期に策定し安全で安心な水の管理体制を強化します。

#### 危機管理体制の強化

- ◇平成29年度から国庫補助金（生活基盤施設耐震化等補助金）を活用して耐震管の布設や災害時等に給水拠点として活用できる貯留水槽（貯水量1,577m<sup>3</sup>）の建設等を行いました。
- ◇水道管の耐震化は向上しましたが、令和2年度末時点で22.4%と全体の約4分の1であり、全国平均の40.7%よりも低い状況にあるため引き続き耐震管の整備を進めていきます。

## 水道管の耐震化率

平成28年度末 19.2%



令和2年度末 22.4%

### 地球にやさしい水道施設の整備

◇エネルギー消費が最も多い第2水源地のポンプ設備や電気設備について、高効率な設備に更新しました。令和4年度から本稼働しますので、今後、環境負荷低減や運転コスト削減などの効果が期待できます。

## 政策2

### 「サービス」の品質向上

評価： B (一定の成果を上げた)

### お客様サービスの向上

◇水道料金の支払い方法としてクレジット決済の導入について検討しましたが、水俣市の水道料金の収納率は99%を超えており、システム改修にかかる導入経費や決済サービス手数料など新たな経費をかけて導入しても、費用対効果が低いと判断しましたので導入を見送りました。今後もお客様の利便性向上のため新たな支払方法の導入について検討します。

◇水道事業に関する情報発信を広報みなまたや上下水道局ホームページで行いました。各種申請書等の様式もホームページ上に掲載しておりお客様の利便性向上を図っています。また小学生の施設見学の受け入れを行い水道事業に関する学習の機会を設けました。なお、令和2年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため施設見学を休止していますが小学校で出前講座を実施しました。



【平成31年度 施設見学】

### 事務事業の効率化

◇水道事業の会計システムと水道料金システムのリプレースを行い安定的なシステム稼働を維持することができました。また、各システム等のネットワークをまとめ業務の効率化を図りました。

## 財政運営の健全化

◇人員削減により職員給与費を削減しました。また職員1人当たりの労働生産性も向上しました。



### 政策3

#### 「人」の資質向上

評価： **C** (成果が上がっていない)

## 職員の資質向上

◇毎年、職員の技術取得や技術水準維持のため日本水道協会が主催する技術研修等を受講しました。なお、令和2年度はコロナウイルス感染症拡大の影響で研修会が中止となり技術研修等を受講することはできませんでしたが、上下水道局職員を対象とした緊急時の応急給水訓練や若手職員が日常業務に対する自己分析と課題整理を行い他職員に発表するなど、局内研修に取り組み職員の技術維持と資質向上に努めました。

## 〇まとめ

◇水の品質向上については、施設整備等を計画どおりに行うとともに、緊急時給水拠点整備による危機管理体制の強化、継続した水質管理と水質監視体制の強化など、概ね目標どおりの成果を上げています。今後、水道管の耐震化率の向上と水質管理体制のさらなる強化に取り組んでいく必要があります。

◇サービスの品質向上については、クレジット決済導入などお客様サービスの向上につながる取り組みについて検討しましたが、本市水道事業の料金収納率は高い水準を維持できていることや導入・運転コストに対する効果が低いことから、現時点で導入を見送ることとしました。また、業務のO A化による事務事業の効率化、人件費等の経費削減による財政運営の健全化を図るなど、上下水道局内部の改革にも取り組み、概ね目標どおりの成果を上げています。

◇人の資質向上については、令和2年度はコロナ禍のため外部研修に参加することができませんでしたが、上下水道局内で研修を行い職員の資質向上に努めました。しかし十分な研修時間を得ることはできなかつたため評価はCとしました。今後は、リモートによる研修の活用、組織再編成及び業務見直し等により、技術や知識を継承していけるよう努めます。